

MORNINGSTAR
ENGINEERING



ML5

取扱説明書

(株) アンブレラカンパニー

www.umbrella-company.jp

* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。
無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

はじめに	3
インターフェース	3
プリセットを保存する	5
Global Settings	6
<i>MIDI</i> チャンネル	6
<i>Muted Switching</i>	6
<i>Muted Switching Timing</i>	7
<i>PC Toggle</i>	7
<i>Factory Reset</i>	7

はじめに

Morningstar ML5 をご購入いただきありがとうございます。ML5 は MIDI でコントロールするオーディオループスイッチャーです。MIDI 非対応ペダルを MIDI コントローラーで操作可能にし、ペダルボードのトータル・コントロールを達成します。また既存の MIDI ループスイッチャーにループを追加するような使い方もできます。

インターフェース

フロントパネル



スイッチ A - E - 各スイッチは ML5 のオーディオループに対応します。各ループが有効になるとスイッチが点灯し、シグナルチェーンに組み込まれたことを表します。スイッチが消灯している場合、ループはバイパスされシグナルチェーンに入っていません。

LEARN ボタン - LEARN ボタンを押すと ML5 が LEARN モードになります。LEARN モード中はボタンが点滅します。

サイドパネル

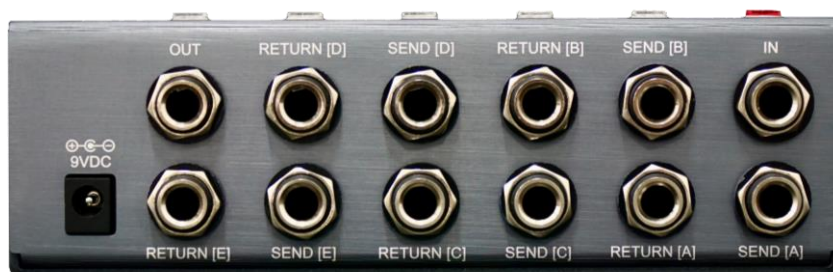


MIDI OUT - MIDI IN からスルーされた MIDI メッセージが OUT から出力されます。ML5 を他の MIDI デバイスと連続して接続することができます。

*ML5 自身が MIDI メッセージを生成することは出来ません。

MIDI IN - ML5 は MIDI IN から MIDI メッセージを読み取ります。

バックパネル



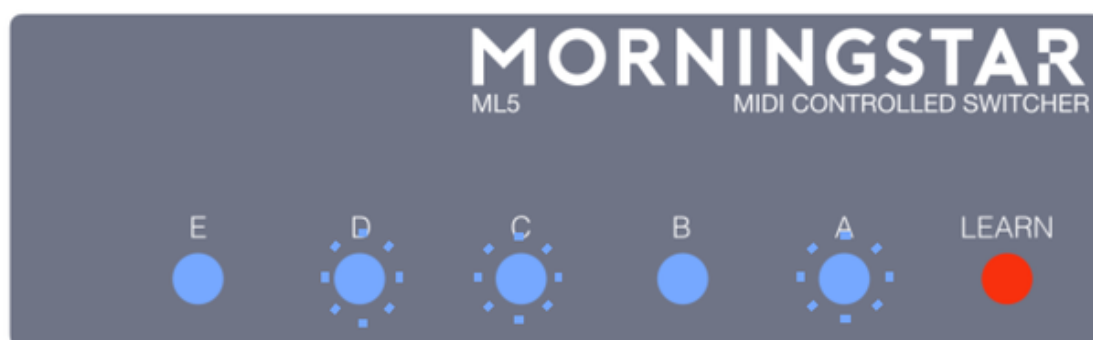
IN / OUT - オーディオチェーンの最初の入力と最終の出力ジャックです。

SEND (A) - (E) - オーディオ信号は SEND から出力されます。SEND からエフェクトペダルの入力へ接続してください。

RETURN (A) - (E) - ループしたオーディオ信号は RETURN に戻されます。エフェクトペダルの出力から RETURN へ接続してください。

9VDC - 9VDC センターマイナス電源を接続します。

プリセットを保存する



1. スイッチ A-E を押して、プリセットで有効にしたいループを選択します。上の画像ではループ A, C, D が有効になっています。
2. LEARN ボタンを押します。ボタンが点滅し、ML5 が LEARN モードになったことを表します。
3. MIDI コントローラーからプログラムチェンジメッセージを送信します。LEARN ボタンが素早く点滅し、プリセットが保存されたことを表します。ML5 から登録したプログラムチェンジメッセージを送信するたび、選択したループが呼び出されます。

Global Settings

MIDI チャンネル

ML5 が MIDI メッセージを受信するチャンネルを設定します。

スイッチ E を押しながら ML5 の電源を入れ、電源が入ったらスイッチを離します。LEARN ボタンが点滅します。その後は以下の動作で MIDI チャンネルを設定します。

動作	説明
スイッチ A	Omni 設定。ML5 は全ての MIDI チャンネルのメッセージを受信します。
スイッチ B から E	ML5 の MIDI チャンネルを 1 から 4 で設定します。
PC/CC メッセージを送信	PC/CC メッセージを送信した MIDI チャンネルに設定されます。

Muted Switching

ML5 の回路はスイッチングノイズを極限まで抑えるように設計されています。しかし内部昇圧を備えるペダルなど、デバイスによってはスイッチングノイズを抑えきれないことがあります。

オーディオループの有効/無効を切り替える際にノイズやポップ音を抑制するため、Muted Switching 機能が用意されています。ミュートは特定のループに適用でき、ループが切り替えられる瞬間のみ信号をミュートすることでスイッチングノイズを抑えます。出荷時オーディオミュートは全てのループに適用されています。

ループのミュートを設定するにはスイッチ D を押しながら ML5 の電源を入れます。Learn ボタンが点灯したらスイッチを離し、Learn ボタンが点滅します。ミュートに設定されているループの LED が青く点灯し、ループのボタンを押してミュートを有効にしたいループチャンネルを選択します。最後に Learn ボタンを押して設定を保存します。

Muted Switching Timing

ミュートのタイミングを設定します。設定するには、スイッチ C を押しながら電源を入れます。Learn LED が点灯したらスイッチを離し、LED が点滅します。スイッチ E が最も短く、A が長いインターバルです。

PC Toggle

ML5 は現在有効になっているループに対応した PC メッセージを受けて、そのループがアクティブかバイパスかを切り替えることができます。例えばループ A,B,C が有効のときループ A,B,C を有効にする PC メッセージを送信すると、A,B,C のループがバイパスされます。工場出荷時この機能はオフになっています。

この設定を切り替えるには、スイッチ B を押しながら電源を入れてください。Learn LED が点滅します。動作を繰り返すたび PC Toggle 機能のオンオフを切り替えます。

Factory Reset

全てのプリセット設定を消去し、工場出荷時の設定へ戻します。MIDI チャンネルは 1 に設定されます。ファクトリーリセットを行うには、スイッチ A,C,E を押しながら ML5 の電源を入れます。

MIDI Specifications

ML5のMIDI CCの割り振りは、デフォルトでMode 1の内容に設定されています。

2020年以降に生産されたML5は、スイッチAを押しながら電源を投入することで、MIDI CCの割り振りをMode 1とMode 2で切り替えることができます。

Mode 1

CC ナンバー	機能
0	値 0-63 全てのループをバイパス
	値 64-127 全てのループをアクティブ
1 - 5 (ループ A から E に対応)	値 0-63 対応するループをバイパス
	値 64-127 対応するループをアクティブ
6-10 (ループ A から E に対応)	全ての値 対応するループのアクティブ/バイパスを切り替え

Mode 2

CC ナンバー	機能
9	値 0-63 全てのループをバイパス
	値 64-127 全てのループをアクティブ
20-24(ループ A から E に対応)	値 0-63 対応するループをバイパス
	値 64-127 対応するループをアクティブ
25-29(ループ A から E に対応)	全ての値 対応するループのアクティブ/バイパスを切り替え